

脱炭素につながる未来の環境を変える実践講座
山梨県地球温暖化防止活動推進員研修会兼ねる

これからの学校での気候変動教育

2025年1月8日(水)

山梨県立図書館



高田研 (全国地球温暖化防止活動推進センター理事長)
禰津匡人 (南アルプス子どもの村小中学校)

「気候変動教育」の輪が、小学校・中学校・高等学校等 各学校において、全国的に大きな広がりを見せています。「主体的で対話的な学び」の教育の流れの中、先進的に取り組まれている事例や、「自分の地域でもこんな視点で取り入れられる!」という事例を、全国の多様な知見をもち、また山梨県に長年過ごされた高田さんより、ご紹介いただきます。

そして、県内で「食・農・エネルギー」をテーマに実践的に学び、循環型の暮らしの探求をしている南アルプス子どもの村小中学校の事例を禰津さんからご紹介いただきます。

実施概要

- 日時 / 2025年1月8日(水) 13時~15時 (開場:12:30)
- 会場 / 山梨県立図書館 (山梨県甲府市北口2丁目8番1号)
- 対象 / 一般・推進員・興味のある方ならどなたでも
- 参加方法 / 現地参加・オンライン (ZOOM利用)
- 参加費 / 無料

●スケジュール

- 13:00 オリエンテーション
- 13:10 これからの学校での気候変動教育
- 14:10 南アルプス子どもの村小中学校の事例紹介
- 14:30 ゲストを交えて少人数のおしゃべりタイム
- 15:00 終了



主催・お申込

山梨県地球温暖化防止活動推進センター 公財}キープ協会 環境教育事業部
電話: 0551-48-8011 Mail:eco@keep.or.jp
407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545

以下の項目を、電話・申し込みフォーム (QRコード) よりお申込み
→フォーム <https://ssl.formman.com/t/fVh/>

- ①参加形式 / 現地・オンライン ②名前 (ふりがな) ③属性 (推進員 / 一般 / 自治体 / 企業)
- ④所属があれば ⑤お住いの都道府県と市町村 ⑥電話 ⑦メールアドレス ⑧どこで知ったか



申込みQR

◆ゲスト：高田研さん

個人事務所 みのむし環境文化研究所代表
地球温暖化防止全国ネットJNCCA 理事長
公害地域再生センター（あおぞら財団）理事
日本ボランティア学習協会 理事
日本インタープリテーション協会 監事



1954大阪生まれ。兵庫教育大学大学院（教育社会学）、関西大学大学院文学研究科 地理学専攻博士課程後期課程 単位修得退学。兵庫県、大阪府で小中の公立学校教員の後、国立青年の家専門職員、岐阜県立森林文化アカデミー教員を経て都留文科大学（環境教育）に着任、2023退職

徳島県立4つの高等学校で15年間参加型の授業改革を指導。現在は気候変動教育の推進のため、全国の小中高等学校で授業実践支援を行っている。

※今年の夏は鍋底のような暑さの大阪から逃亡して釧路と網走で10日余（難民）キャンプしていました（写真）



◆ゲスト：禰津匡人さん

南アルプス子どもの村中学校「くらしの歴史館」担任

1992年生まれ。埼玉県出身。きのくに子どもの村小中学校、自由の森学園を卒業し、都留文科大学に入学。大学では環境教育・子どもの遊び場について研究する。卒業後、徳島県上勝町にある合同会社パンゲアに入社。地域資源を活用した自然体験プログラムの開発、ゼロ・ウェイストをテーマとした子どもキャンプなどを担当。現在は南アルプス子どもの村中学校で食と農の循環をテーマにしたクラス「くらしの歴史館」を担当している。

「くらしの歴史館」とは

山梨県南アルプス市の大自然を背景に循環するくらしのあり方を探るクラスです。大きく掲げるテーマは3つ「家畜」と「農業」そして「0から食堂」です。家畜は豚、ボリスブラウン、アイガモ、養蜂などを育て、農業は米（アイガモ農法）、麦、大豆、季節の野菜を無農薬で育てています。

それらの食材をつかって、ひらく0から食堂は、中学生が営む小さな食堂。自分たちで0から育てた食材を使用しつくった料理は、最高に美味しく絶品です。

さらに今年度は、食堂の電気も自分たちで0からつくり、ゴミにも目を向け、ゴミゼロにも取り組んでいます。様々な方法を試しながら、地球も人も安心して楽しく暮らせる社会をつくらうとしているのが「くらしの歴史館」です。



◆主催・お申込み

山梨県地球温暖化防止活動推進センター（公財）キープ協会 環境教育事業部
電話：0551-48-8011 Mail:eco@keep.or.jp
407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545